

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 福島県いわき市立四倉小学校（※正式名称を記載）

種 別  保育園・幼稚園     小学校     小中一貫<sup>※注1</sup>

中学校     中高一貫<sup>※注2</sup>     高等学校

教員養成大学     専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫 \_\_\_\_\_）

※注1 義務教育学校を含む    ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒979-0201

いわき市四倉町字西四丁目3-3

E-mail \_\_\_\_\_

Website \_\_\_\_\_

幼児児童生徒数 男子 162名    女子 141名    合計 303名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

### 3 活動内容

#### (1) 活動の概要

当校は、「地域から、未来を見すえた学びの創造」を活動テーマとして、ESDを「持続可能な社会づくりの構成概念や育てたい能力・態度を学年ごとに設定し、教科や道徳、学校行事との関連を考え、授業を創造することと捉え、ESDの実践を通して、「社会の様々なつながりに気づき、自分や地域、社会を考え、振り返り、尊重することができる児童を育む」ことを目標とした。

具体的には、学年ごとにテーマとねらいを設定し、生活科・総合的な学習の時間を中心に他教科と関連付けながら、取り組んできた。

1年：自然と遊ぼう

ねらい：地域の自然環境などにふれ合う活動を通して、自然のよさに気づき、自然に親しむ子供を育てる。

活動内容：◇校庭や近くの公園で遊び、季節ごとに植物、生き物と触れ合う  
◇地域の自然について伝え合う。

育てたい能力：○進んで参加する態度  
態度：＜多様性＞

2年：四倉町のすてきをさがそう

ねらい：身近な地域を調べる活動を通して、地域や地域の人々のよさに気づき、地域を大切に作る子どもを育てる。

活動内容：◇町探検を行い、地域の商店街の人と交流する。  
◇町のすてきを調べ、わかったことを発表する。

育てたい能力：○多面的・総合的に考える力○コミュニケーションを行う力  
態度：＜相互性＞

3年：四倉町をもっと知ろう

ねらい：地域の文化や伝統行事などを調べる活動を通して、自分の郷土のすばらしさを知り、それらを守っていかこうとする子どもを育てる。

活動内容：◇町の神社、寺等を見学し、地域の文化を調べる。  
◇地域の伝統芸能を体験する。

◇文化や伝統芸能を調べて、わかったことを発信する。  
育てたい能力：○他者と協力する力○つながりを尊重する力  
態度：＜相互性＞

4年：みんなと生きる

ねらい：同じ社会で生きる人間として、高齢者や障害を持った人たちを正しく理解し、共に助け合い、支え合っていける子どもを育てる。

活動内容：◇体験教室（盲導犬、手話、点字、認知症教室、シニア体験）を通して、障害者や高齢者についての理解を深める。

◇自分にできること、大切にしたいことを考え発信する。  
育てたい能力：○コミュニケーションを行う力○他者と協力する力  
態度：＜相互性＞＜公平性＞

5年：見つめようエネルギー

ねらい：多面的・総合的にエネルギーを見つめることにより、エネルギー資源の有限性や環境への影響を学び、課題を捉え、解決に向けて実践しようとする子どもを育てる。

活動内容：◇体験活動（エネルギー教室、発電所見学、放射線教室）を通し、地球温暖化の原因と影響の理解し、各発電方法の長所・短所を調べる。

◇活動から、課題を見つけ、自分たちができることを考え、発信する。  
育てたい能力：○未来を予測して計画を立てる力○多面的・総合的に考える力  
態度：＜多様性＞＜相互性＞＜有限性＞

6年：ふるさとのよさを伝えよう・世界に目を向けよう

ねらい：地域の自然や文化、特色について調べ、まとめ、発信する活動を通して、ふるさとのよさを発見し、郷土を大切に子どもを育てる。

世界遺産や平和について学び、自分たちにできるユネスコ活動を実践しようとする子どもを育てる。

活動内容：◇インドネシアの小学生との交流のために、地域のよさを考え、追究活動をしまとめ、交流する。

◇ユネスコ協会の授業で、ユネスコ活動について考え、自分たちにできることは何かを考え発信する。

育てたい能力：○未来を予測して計画を立てる力○多面的・総合的に考える力

態度：＜多様性＞＜相互性＞＜有限性＞

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野（複数選択可）

|  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 環境               | <input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー      | <input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災           | <input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動             | <input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input type="checkbox"/> 10. 食育                   | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費             | <input type="checkbox"/> 12. 貧困              |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク           | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク                | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育(GCED)   |  |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等         | <input type="checkbox"/> 17. その他( )               |   |  |

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

|   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力                | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力   |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度    | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度     |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度    |  |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )              |  |

#### ウ. 活動時間（複数選択可）

|  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動                |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )       |  |

#### エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

|  |
|--|
|  |
|--|

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・生活科・総合的な学習の時間に ESD の考えをだ台に据えた学習単元を構成している
- ・「学年ごとにテーマを変えた学習の継続」を基本とした単元設定
- ・ESD カレンダーを作成し、他教科との関連（横断的な学習）を明らかにした実践
- ・学習過程（学びのプロセス）を取り入れた単元構成図の作成

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

- ・教師間での指導・準備等の情報交換の実施
- ・隣接学年での交流発表会
- ・校内実践発表会での研修

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

- ・今年度は、「東北ブロックユネスコ活動研究会」に参加。また校内実践発表会を実施。
  - 学年ごとのテーマ実践が取り組みやすい。
  - テーマが毎年変わるので、学年によってつけたい力を明確にし、6年間を見通した学年全体での取組を構築しておくこと。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

- ・学校 HP による保護者・地域への発信。
- ・地域での学習活動には、協力を得て進めている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

- ・ NPO 法人の協力による、インドネシアの小学校との交流。（スカイプによる交流会）
- ・ 地域ユネスコ協会による出前授業。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

- ・ 県内のユネスコスクールの実践発表会への参加、情報交換。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

- ・ 学びの過程を意識したことで、活動が児童の主体的な取組になってきている。
- ・ 双方向の伝達が増えたことで、児童個々がじっくりと考えるようになってきている。
- ・ 教師は、単元を見通した構想図を作成したことで、児童の学習活動のコーディネートや支援がしやすくなった。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

・平成29年度の研究・実践を継続して行う。

<研究主題>

地域から未来を見すえた学びの創造

ESDの考えを生かした教育活動・学習活動の推進

～生活科・総合的な学習の時間を中心にして～

<手だて>

- 1 主体的に取り組むための4つの段階を踏まえた単元構成
- 2 自分の考えを深めるための学び合いの場の設定
- 3 発信・実践の場、時間のコーディネート